



NPO自治体協働事業

レポート

このコーナーではNPOと地方自治体による協働事業を紹介します。ノウハウはあるが活動資金に乏しいNPOと、効率的な事業活動を目指す自治体との連携による事業の成果について考えます。

交流と安心のある 住まい環境づくり事業

特定非営利活動法人ゆめのき (北海道釧路郡釧路町)

北海道釧路郡釧路町遠矢地区では、まちづくりの柱の一つである「交流と安心のある住まい環境づくり」釧路町型コレクティブハウジングとして、地域交流センターを新設しました。

運営は、町民が設立した地域型NPO「ゆめのき」が担当し、地域の高齢者を地域住民で支える取組みを始めています。

急増する地域の高齢者を 地域型NPOで支えたい

釧路町は、自然豊かなまちです。遠矢地区は、町の北側に位置し、釧路湿原を擁しています。

釧路町では、遠矢地区のまちづくりを建設と福祉の協同で計画実施しようという発想から、平成15年にシルバーハウジングや一般の町営住宅に高齢者住宅支援サービス施設を併設した複合施設「釧路町型コレクティブハウジング」建設を計画し、平成18年に完成しました。

一方、町では、急増する地域高齢者を支える人材育成と住民主体の地域型NPO設立支援のため、平成16年度から在宅支援サポーター養成事業（講座）を実施しました。

ところが、施設完成の1年前になってもNPO法人設立の兆しはありません。受講生の中から「町が地域型NPOに目を向けているのに、他の企業に介護事業で儲けさせるのはもったいない」という意見が出て、平成17年8月にNPO法人設立準備室を立ち上げ、平成18年2月には特定非営



ゆめのき忘年会はお年寄りも子どもも盛り上がります。

利活動法人ゆめのきが誕生しました。

「先がわからない状況でスタートし、何もかも新鮮でした。介護のプロはいますが、経営のプロはいません。素人の集まりのいいところを活かせればと思います」と、ゆめのきで2番目に若い、理事長の佐々木大剛とよよしさんはおだやかに話します。

30年後に自分が受けた 介護をめざして

「平成14年に、58歳で末期がんだった父を1か

月介護し、家で看取りました。目の前で脈がなくなつていく感覚が衝撃で、私の人生はガラッと変わりました。父の死を目のあたりにしたことで今の自分があると思いたい。自分が58歳までの間に何ができるか、真剣に考えるようになりました。最期は家族で看取れる地域になればいい。自分が受けた介護が最終目標です」と佐々木さんは言います。

ゆめのきでは、介護保険法に基づく「小規模多機能型居宅介護」を行うとともに、釧路町から受託して「生活相談員（LSA）派遣事業」、「訪問・通所型介護予防事業（ミニデイ）」を実施しています。

小規模多機能型居宅介護は、24時間365日の事業なので、「介護サポートえるむ」という事業所を起ち上げ、試行錯誤を繰り返しています。

「看護師と専門相談員を増やせば、家族との協力体制がよりスムーズになると思うのですが、今の介護報酬では無理ですね。事業を始めてみて、お年寄りの人生そのものを背負わなければならぬ」と、ゆめのき最年少の事務局長で、えるむの施設長でもある藤野勇一さんは話します。

生活相談員派遣事業では、地域のお年寄りの安否確認や、相談内容に応じて専門機関に橋渡しする役目を担っています。

ミニデイでは、身体を動かして遊んだり、一緒に昼食を食べたりして、自然な形で介護予防をしています。



フリーマーケットには中間世代も集まりました。

「釧路町は全面的に協力してくれます。NPO設立のための会議会場予約・費用負担に始まり、進め方や事務的なことで困ったときにも助けてくれます。行事のときも、町の職員が私的な時間を使って手伝ってくれたり、子連れで見に来てくれたりします。協働していなかったらもつと大変だったのでは」と、佐々木さんは目を細めます。

だれもが安心して暮らせる 地域づくりを

ゆめのきの活動は、高齢者支援だけではありません。

せん。「地域守り隊」というパトロールボランティア活動にも力を入れています。「ぼかぼか食堂」というコミュニティレストランを不定期に開き、地域住民とコレクティブハウジングの入居者との世代を超えた住民交流も行っています。

「代表の役目は顔を広げ、団体の知名度を上げることにあって思っているので、地域守り隊の活動等を絡めて、小中学校や児童館にはこまめに顔を出しています。きっかけがあればボランティアの応援も頼みます。地域に知り合いを増やすのは楽しいですね。また、ゆめのきでいろいろな行事をやったところ、子どもや高齢者は参加してくれども、中間層がなかなか来てくれませんでした。そこでフリーマーケットをやってみたら狙いの中！いろいろな世代の住民が交流できるようになりました」と、佐々木さんは事業をすすめるうえでのアイデアを教えてください。

「ゆめのきは、地域住民の視点で地域課題を発見し、独自事業に市民活動の目線で取り組んでいて、年齢や性別に関係のない地域交流に大きく貢献してくれています」と、釧路町介護健康課の鳥居拓也さんは話します。

NPOと行政が理想的なかたちで協力し合う、協働の醍醐味を教えてくださいました。

DATA

特定非営利活動法人ゆめのき

〒088-2143

北海道釧路郡釧路町河畔4-35

遠矢ささき整骨院内 会議室

TEL&FAX. 0154-40-1881